

令和 6 年度県税収入の状況

R 6 年度決算額の税目別の増減要因等（R 5 年度決算額との比較）

1) 個人県民税

R 6 決算：322.9 億円（対前年度 △6.3 億円 △1.9%） ← R 5 決算：329.2 億円

◎ 県民税（均等割・所得割）

R 6 決算：286.0 億円（対前年度 △19.8 億円 △6.5%） ← R 5 決算：305.8 億円
・ 定額減税による減収。

調定額（現年分）R 6：286.2 億円 ← R 5：306.4 億円

◎ 県民税配当割

R 6 決算：15.5 億円（対前年度 +4.6 億円 +42.3%） ← R 5 決算：10.9 億円
・ 上場株式等の配当等の増による増収。

◎ 県民税株式等譲渡所得割

R 6 決算：21.4 億円（対前年度 +8.9 億円 +71.0%） ← R 5 決算：12.5 億円
・ 上場株式等の譲渡所得の増による増収。

2) 県民税利子割

R 6 決算：1.3 億円（対前年度 +0.7 億円 117.3%） ← R 5 決算：0.6 億円
・ 利子等の支払額の増による増収。

3) 個人事業税

R 6 決算：13.7 億円（対前年度 +0.9 億円 +7.0%） ← R 5 決算：12.8 億円
・ 課税対象となる R 5 事業所得の増による増収。

4) 法人二税

R 6 決算：329.8 億円（対前年度 +8.8 億円 +2.7%） ← R 5 決算：321.0 億円
・ 一部法人の企業業績の回復等による増収。

◎ 法人県民税

R 6 決算：28.2 億円（対前年度 △0.3 億円 △1.2%） ← R 5 決算：28.5 億円

◎ 法人事業税

R 6 決算：301.6 億円（対前年度 +9.2 億円 +3.1%） ← R 5 決算：292.4 億円

◎ 法人二税（法人県民税＋法人事業税）の主な業種別調定額の状況

※ 調定額（現年課税分）ベースで、均等割を除く。

（単位：百万円、％）

業 種	調 定 額	伸 率	対前年増減額
農林水産業	113	+8.3	+9
鉱業	1	△22.6	△0
建設業	3,009	+26.1	+623
製造業	11,250	△17.4	△2,369
電気機械	1,997	△8.1	△176
金属製品	533	△14.2	△88
精密機械	2,623	△43.5	△2,018
一般機械	688	△11.8	△92
その他製造	5,409	+0.1	+5
卸・小売業	4,530	+15.4	+603
金融・保険業	3,194	+32.9	+790
不動産業	634	△6.0	△40
運輸・通信業	1,715	+34.3	+438
電気・ガス供給業	915	+4.9	+43
サービス業	6,110	+13.9	+745
その他	211	+3.2	+6
計	31,682	+2.8	+848

5) 地方消費税

R6 決算：158.9 億円（対前年度 +58.7 億円 +58.5%） ← R5 決算：100.2 億円
・還付税額の減による増収。

《内訳》

- ・譲渡割 R6 決算：158.6 億円（対前年度 +58.7 億円 +58.7%）
（国内取引に係る地方消費税） ← R5 決算：99.9 億円
- ・貨物割 R6 決算：0.2 億円（対前年度 △0.1 億円 △9.9%）
（輸入取引に係る地方消費税） ← R5 決算：0.3 億円

《参考》都道府県間の清算後の収入額

- ・R6 決算：451.2 億円（+24.8 億円 +5.8%） ← R5 決算：426.4 億円

6) 不動産取得税

R6 決算：19.4 億円（対前年度 +1.0 億円 +5.9%） ← R5 決算：18.4 億円
・大型課税物件の増による増収。

課税件数 R6：14,427 件（対前年度 +335 件 +2.4%） ← R5：14,092 件

大型課税物件（税額1,000万円以上）

R6：18件 8.5 億円（対前年度 ±0件 +102.4%） ← R5：18件 4.2 億円

課税免除額

R6：8件 5.4 億円（対前年度 +4件 +390.9%） ← R5：4件 1.1 億円

7) 県たばこ税

R6 決算：10.3 億円（対前年度 △0.2 億円 △1.5%） ← R5 決算：10.5 億円

・ たばこの売り渡し本数の減少による減収。

売渡本数 R6：9 億 6324 万本（対前年度 △1,424 万本 △1.5%） ← R5：9 億 7748 万本

8) ゴルフ場利用税

R6 決算：7.9 億円（対前年度 △0.1 億円 △0.5%） ← R5 決算：8.0 億円

・ 課税利用人数の減少による減収。

R6：1,350,679 人（対前年度 △13,250 人 △1.0%） ← R5：1,363,929 人

9) 自動車税種別割

R6 決算：127.4 億円（対前年度 △0.6 億円 △0.5%） ← R5 決算：128.0 億円

・ 軽課対象車両の増加による減収。

1 台当たり課税額 R6：36,035 円（対前年度 △194 円） ← R5：36,229 円

10) 自動車税環境性能割

R6 決算：10.6 億円（対前年度 +1.5 億円 +16.5%） ← R5 決算：9.1 億円

・ 税率区分の見直し（R6.1.1 以降燃費基準の厳格化）に伴う増収。

1 台当たり課税額 R6：85,018 円（対前年度 +3,240 円） ← R5：81,778 円

11) 軽油引取税

R6 決算：70.8 億円（対前年度 +1.8 億円 +2.6%） ← R5 決算：69.0 億円

・ 軽油需要の増による増収。

《課税対象軽油引取量》

R6：220,542 キロリットル（対前年度 +5,590 キロリットル +2.6%） ← R5：214,952 キロリットル

12) その他の税

◎ 旧法による自動車税

R6 決算：46 万円（対前年度 △127 万円 △73.3%） ← R5 決算：173 万円

◎ 旧法による自動車取得税

R6 決算：なし（対前年度 皆減） ← R5 決算：3,275 万円

◎ 狩猟税

R6 決算：1,082 万円（対前年度 +7 万円 +0.7%） ← R5 決算：1,075 万円

◎ 鉾区税

R6 決算：20 万円（対前年度 △2 万円 △10.6%） ← R5 決算：22 万円

令和 6 年度県税 徴収率の状況

徴収率（課税された税額に対して、実際に納められた税額の割合）

R 6 決算：99.3%（対前年度 +0.1 ポイント） ← R 5 決算：99.2%

◎ 徴収率 (単位：%)

	山 梨 県			全国平均		
	R 6	R 5	増減	R 6	R 5	増減
現年分	99.7	99.7	±0.0	99.6	99.6	±0.0
滞納繰越分	33.5	35.7	△2.2	39.0	39.9	△0.9
計	99.3	99.2	+0.1	99.2	99.1	+0.1

- ・ 徴収率（現・滞）は、地方消費税等の増収や、徴収対策の強化により、99.3%と昨年度を0.1ポイント上回った。
- ・ 全国順位は、現年分については、6位順位を上げて9位。滞繰分については、8位順位を下げて34位。全体では前年度同位の10位となった。

※ 差押実施状況（件数は、地方税法第20条の4及び第739条の5に係るものを除く。）

令和 元年度	968件
令和 2年度	1,185件
令和 3年度	1,463件
令和 4年度	1,671件
令和 5年度	1,587件
令和 6年度	1,472件

令和 6 年度県税 不納欠損の状況

不納欠損額（法令の規定に基づく消滅時効、執行停止による債権の消滅等となった額）

R 6 決算：7,066 万円（対前年度 +1,804 万円 +34.3%） ← R 5 決算：5,262 万円

	R 6	R 5	増 減	伸 率
個人県民税 （所得割・均等割）	3,829 万円	3,907 万円	△78 万円	△2.0%
上記以外の県税	3,237 万円	1,355 万円	+1,882 万円	+138.8%
計	7,066 万円	5,262 万円	+1,804 万円	+34.3%

※ 不納欠損の具体例

財産調査を行った結果、滞納処分可能な財産がない等の理由で滞納処分の執行が停止されたが、その後3年間資力が回復しない場合等。

令和 6 年度県税 滞納繰越額の状況

滞納繰越額（令和 7 年度へ繰り越される額）

R 6 決算：6 億 8,614 万円（対前年度 △2,347 万円 △3.3%）

← R 5 決算：7 億 0,961 万円

- ・ 地方税滞納整理推進機構の取組や市町村との連携の効果などにより、個人県民税の滞納繰越額は着実に減少している。（平成 21 年度の滞納繰越額は 25 億円）
- ・ 個人県民税以外の県税については、総合県税事務所の徴収努力により、個人事業税や不動産取得税の滞納繰越額が減少したことで、対前年度比△5.7%、△1 千 8 万円となった。

◎ 滞納繰越額

	R 6	R 5	増 減	伸 率
個人県民税 （均等割・所得割）	5 億 1,805 万円	5 億 3,144 万円	△1,339 万円	△2.5%
上記以外の県税	1 億 6,809 万円	1 億 7,817 万円	△1,008 万円	△5.7%
計	6 億 8,614 万円	7 億 0,961 万円	△2,347 万円	△3.3%